

受講者 各位

令和2（2020）年度 小学校 中堅教諭等資質向上研修（必修1-1：番号4）

教科指導法研修会（理科）に関する御連絡

担当：佐藤 寛之（山梨大学）

12月28日（月）の研修会では、受講者の先生方に取り組んでいただいた今年度の理科の授業について、その内容や授業づくりで工夫された点等を発表していただきたいと考えております。

つきましては、以下に記す課題をご準備のうえで、研修会にご参加ください。

【課題】 理科の授業の実践例を1つ報告してください。

- 今年度実施の理科のいずれかの単元で授業実践記録をとってください。
（理科であれば、学年と単元は自由です。）
- A4版両面印刷で以下の内容を記した資料を作成してください。
（枚数はお任せしますが、あまり多くなりすぎないようにしてください。）
 1. 単元名
 2. 単元内容に関する学習前の児童の実態
（アンケート等は、無理にとる必要はありません。）
 3. 単元の目標
（単元を通して育成したい資質・能力も記述してください。）
 4. 単元構想について
 - ・この単元を実践する前に、学習のキーワードとなる「言葉」を選び、単元構想図を作成してみてください。
 5. 授業実践記録
 - ・この単元のそれぞれの時間に行った①日時・②学習活動・③学習での児童の主な様子を簡潔でいいので①②③を表にまとめてください。
 6. 実践を通じた成果と課題
（単元全体やある内容の実践を通して得られた成果と課題について、ご説明願います。）

※今年度、理科の授業を受け持っていない方は、

これまでの実践の中で記憶にある取組を記載して発表のご準備をお願いします。

【当日の予定】

- (1) 日 時：令和2（2020）年12月28日（月）9：15～12：15（受付 9：00～9：15）
- (2) 受 付：（指定されていた受付場所で受付をお願いいたします）
- (3) 研修場所：山梨大学教育学部 L号館3階 L314（実験室）
- (4) 内 容：受講者による実践発表（20分程度）と研究協議
- (5) 持 ち 物：上記の課題をA4縦置き、横書きで両面印刷にして、10部持参してください。

<単元構想図の例：概念地図法を用いた単元構想図の作成事例>

ある単元の授業構想を考える時に、子どもが理科で学習する「ことば（ラベル）」に着目して、その「ことば」同士のつながりを図的に示す手法（方法）として、「概念地図法（コンセプトマップ法）」という手法（方法）があります。（必要であれば、参考資料を参照してください。）

研修会での資料では、ご自身のやり易い形で自由に単元の構想を示していただければ結構です。

（概念地図法を用いる必要はありません。）

【例①：第5学年の「天気の変化」（単元全体）】

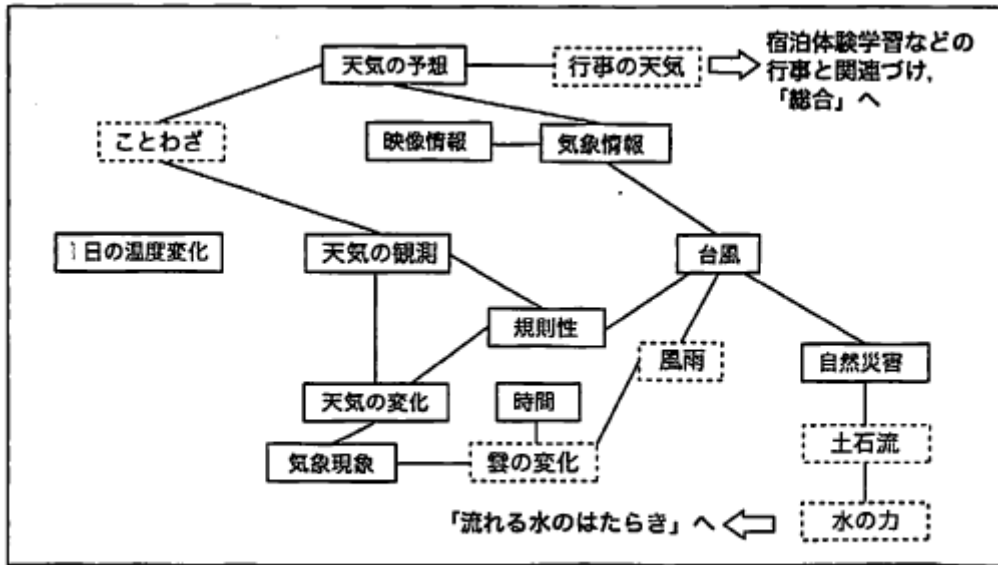


図1 5年生「天気の変化」…授業のための構想を練るときにコンセプトマップとメモ

【例②：第6学年「水溶液の性質」の「水溶液をなかま分けしてみよう」（小単元）】

